

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 株式会社 愛和学園

1. 事業名称

福岡市で暮らすムスリムのための包括的な日本語教育体制整備

2. 事業の目的

福岡市で暮らすイスラム教徒(以下、ムスリム)が日本語能力を伸ばし地域社会と対話し共生できることを目的とする。福岡市では、留学や仕事の関係で国籍が多様な(インドネシア、エジプト、マレーシア、等)ムスリムが暮らしている。ムスリムと地域社会の共生には、ムスリム自らがイスラムの宗教や文化について日本語を通して伝えていく必要がある。したがってムスリムと地域社会の共生に必要な教室設置・人材育成・教材開発を行う。

3. 事業内容の概要

①教室設置:「ムスリムのための」サバイバル日本語講座を実施しムスリムの生活場面に必要な日本語能力を養う

②人材育成:「日常場面から始まる授業・学習者が主体的に参加できる授業」が行える日本語教師を育成する

③教材開発:学習者の日常の話題や場面を基にした授業教案を作成する

4. 運営委員会の開催について 【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年7月8日 10:00～13:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 新井 克之 森瀬 巧海	事業全体の実施体制と 教室運営のカリキュラム	・教室設置運営の日時を確認し、7月～9月期のカリキュラムを確定 ・福岡市教育委員会の名義後援をとる(担当者:深江) ・九州大学 西新プラザの会場を確保(担当者:新井) ・教室活動の授業デザイン(担当者:妹川)
2	平成24年8月5日 10:00～13:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 新井 克之 森瀬 拓海	教室設置運営の現状と課題	・開講1カ月の教室設置運営の現状確認 ・授業内容の検討(標準的なカリキュラム案との比較) ・8月、9月の授業内容の決定 ・ムスリムへのインタビュー調査内容の確認
3	平成24年8月19日 13:00～17:00	4時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 新井 克之	学習教材作成の実施体制	・福岡市立筥松小学校校長、教頭との交渉(担当者:深江) ・ワールドルーム担当講師との交渉(担当者:妹川) ・福岡市及び福岡県の外国人児童数の調査依頼(担当者:深江)
4	平成24年9月16日 10:00～13:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 新井 克之	人材の養成・研修の実施体制	・講座内容の確定(日常場面を基にした授業展開にする) ・受講生の募集方法の決定 ⇒福岡県、福岡市と連携し、ボランティア教室の講師へ周知する ・会場の予約状況の確認
5	平成24年9月30日 10:00～13:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 新井 克之 森瀬 拓海	教室設置運営の小括	・7月～9月期の教室設置運営の振り返り(以下の観点から) 受講生からのアンケート結果 教師による授業評価 ・11月～12月期の教室設置運営は時間帯・内容を変更する
6	平成24年10月14日 14:00～17:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 森瀬 巧海	人材の養成・育成の方向性と 具体的到達点について	・実践研修の第1回目を終え参加者の反応を参考にしながら講座の到達点を確認 ⇒ 実際に授業が行えることがゴール ただ、それぞれの現場の課題があるので、そこと突き合わせる必要がある まずは、今回の講座で伝える授業デザインの習得を目標にする
7	平成24年10月28日 10:00～13:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 新井 克之	学習教材作成の現状と課題	・9月、10月の教材作成の現状報告(以下、要旨) ムスリムの日常場面を基にした教材作成を行う場合、場面シラバスを基にする。こどもたちのみに特化したものではなく、成人ムスリムにも使える教材作成を行う。
8	平成24年11月11日 13:00～17:00	4時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 新井 克之	人材の養成・研修の現状と課題	・10月の講座を振り返り、現状を共有⇒全体的に良い ・他の研修との差異は何か⇒日常の会話場面から自分で考え、授業展開を創作 ・今後の展望 → 自分で授業を創れることをゴールとする → そのために考え方だけでなく授業をする細部まで講座で行う
9	平成24年11月25日 13:00～16:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 森瀬 巧海	学習教材作成の現状報告	学習教材は、「トピックへの導入→アクティビティ→会話練習」の3部構成で行うことを決める。形式は、教案の形とする。100分間の授業教案を、A4 1枚の仕上がりとする。その教案を見れば、具体的な授業がイメージでき、実際に授業を行うとき、下敷きにできるような教材にする。
10	平成24年12月9日 10:00～13:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 新井 克之 森瀬 拓海	教室設置運営の修了式について	地域の商店街の人を修了式に来てもらう ⇒ 招待状を作成し、受講生自らが誘いにいく 福岡市、福岡県の国際交流関係部署に連絡をする ⇒ 深江が担当

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
11	平成24年12月22日 10:00～13:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 森瀬 巧海	教室開講の評価	教室開講は、受講生から高い評価を受け、その要因を検討する ・ムスリムに特化したシラバスを準備できたこと ・「楽しい」授業をデザインできたこと ・教室の外から授業をデザインできたこと
12	平成25年1月12日 10:00～13:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 森瀬 巧海	福岡県の日本語教室支援の 現状と今後の課題	・現在、福岡県は福岡都市圏ではなく、地方における日本語教室開講を支援 ⇒福岡市東区という福岡都市圏で教室開講を行う場合、文化庁からの委託を継続する 必要がある。しかし、平成25年度の募集はすでに終わっているため、二次募集がある かどうかを確認する必要がある
13	平成25年1月20日 13:00～16:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 新井 克之	今年度の取り組みと 次年度の体制について	・地域日本語教育を主たる事業としたNPO設立について 今年度の取り組みを継続させる機関が必要 ・NPO設立の意義と異議 意義: 地域日本語教育の主体ができる 異議: 町内会みたいなものがよい
14	平成25年2月9日 10:00～13:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 森瀬 巧海	福岡市の人材育成支援の 現状と今後の課題	・福岡市の地域日本語教育支援の現状を報告し、今後どのような体制で臨む必要がある かを議論 ⇒地域日本語教室の人材育成に対し、コンソーシアムをつくり取り組むことを福岡市は 推薦しており、コンソーシアムを主体とする方向で考える
15	平成25年2月24日 18:00～21:00	3時間	九州大学	深江 新太郎 妹川 幸代 新井 克之	総括	教室設置、人材育成、教材作成を今後どのように行うか議論を行う ・教室設置: ムスリムを対象としたボランティア教室設置の必要性がある ・人材育成: 福岡市委託の人材育成事業があるのでそこに取り組む必要性がある ・教材作成: 教材というレベルではなく、カリキュラムから考える必要がある

5. 日本語教室の設置・運営

- (1) 講座名称 ムスリムのためのサバイバル日本語講座
- (2) 目的・目標 ムスリムが自らの宗教上の制約や文化を日本語で伝えられ、地域社会
において日本人と共生できる実践的な日本語能力を養うことである。
- (3) 対象者 成人ムスリム
- (4) 開催時間数(回数) 100 時間 (全 50 回)
- (5) 使用した教材・リソース 自作教材
- (6) 受講者の総数 26 人

(出身・国籍別内訳 インドネシア 13 人, マレーシア 7 人, ウズベキスタン 2 人,
パレスチナ 1 人, モロッコ 1 人, パキスタン 1 人, シリア 1 人)

- (7) 受講者の募集方法
福岡マシジドが所有するメーリングリストを用いて募集(募集チラシを添付)

(8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年7月2日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	15人	インドネシア(6)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	自己紹介①	自己紹介を行う。異性間で握手ができない場合は、 その理由を伝え、丁寧に断ることができる。
2	平成24年7月4日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(5)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	私の1日	昨日の出来事を話せるようになる。食べる、寝る、見 るなど基本動詞の過去形「～ました」の形。
3	平成24年7月6日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	12人	インドネシア(5)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(1)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	食べ物①	昨日何を食べたか、だれと食べたか、何を食べたか について話せるようになる。また感想も述べる。
4	平成24年7月9日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	14人	インドネシア(5)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	私の近所	近所に何があるか言えるようになる。ここに〇〇が あります、〇〇はどこですかなど。地図を用いる。
5	平成24年7月11日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	15人	インドネシア(6)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	色	日本語で色が言えるようになったり、買い物の時に 実際に使えるようになる。女性は化粧品を例にする。
6	平成24年7月13日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(4)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	服	試着やすそ上げをしたいとき、同性のスタッフにお願 いできるようになる。
7	平成24年7月18日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	14人	インドネシア(6)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(1)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	歳時記	日本の年中行事を知る。また、ムスリムなので、断 食中に食事に誘われた時、断ることができる。
8	平成24年7月20日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	12人	インドネシア(5)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パキスタン(1)	料理	料理の作り方が言えるようになる。混ぜます、切りま す、洗います、ゆでます、などの動詞。
9	平成24年7月23日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(5)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	食事	ムスリムが食べられないもの(肉料理など)を勧めら れたとき丁寧に断ることができる。
10	平成24年7月25日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	14人	インドネシア(5)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	旅行	自分で旅行の計画を立て、友達を旅行に誘うことが できる。一緒に行きませんか、などの表現。
11	平成24年7月27日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(4)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	贈り物	贈り物をする際、一言添えて渡せるようになる。よ かったらどうぞ、などの表現。あげ・もらいについて。
12	平成24年7月30日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	12人	インドネシア(5)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)	チランの漢字	花火大会のチランを見て、読めない漢字の読み方や 意味を聞くことができる。
回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
13	平成24年8月1日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	15人	インドネシア(6)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	健康	病気の症状を伝えられる。また、予約する際、同性 の医者がいるかたずねることができる。
14	平成24年8月3日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(5)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、モロッコ(1)	訪問	日本人の家を訪問する場面で練習。おわがりがくだ さい、おじゃまします、などの表現。
15	平成24年8月6日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(5)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)	食べ物②	食事の中に、豚肉が入っているか、アルコールが使 われているかたずねることができる。
16	平成24年8月8日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	14人	インドネシア(6)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(1)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	ごみ	ごみの分別ができるようになる。また、スーパーの買 い物場面でレジ袋のやりとりを練習。
17	平成24年8月10日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	14人	インドネシア(6)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(1)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	どんなひと どんなところ	形容詞を用いて、人や場所を描写することができる。 わたしのふるさは〇〇です、などの表現。
18	平成24年8月22日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	14人	インドネシア(5)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	ラマダン明けの パーティー	ラマダン(断食)明けのパーティーで、どんなことをす るか紹介できるようになる。
19	平成24年8月24日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(5)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	すきなもの おすすめ	自分の好きな映画や、好きな歌手について紹介でき るようになる。
20	平成24年8月27日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(6)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、モロッコ(1)	引越し	家の住所や部屋の間取りについて話せるようにな る。不動産屋に問い合わせる場面で練習。
21	平成24年8月29日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(5)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	お国紹介	国の伝統的な行事や名所、名産を写真を用いながら 皆で紹介し合う。
22	平成24年8月31日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	14人	インドネシア(6)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	ドラッグストア	かぜの症状があるとき、ドラッグストアに行き、自分 の症状に合った薬を買うことができる。

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
23	平成24年9月3日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	12人	インドネシア(5)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(2)、パキスタン (1)、モロッコ(1)	漢字(書道)	「豚肉・酒」など日常生活で必要となる漢字を知る。 また、書道を体験し、実際に書く。
24	平成24年9月5日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(4)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	アニメ	好きな日本のアニメについて紹介し合う。「となりのト トロ」の2シーンをとりあげ、アフレコを行う。
25	平成24年9月7日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	15人	インドネシア(6)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	食べ物③	スーパーに行き、ムスリムが食べられるものか否か を実際にお客様センターに問い合わせる。
26	平成24年9月10日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	12人	インドネシア(4)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	美容室	美容室の予約をする。またしてみたい髪型をどのよう に伝えるか練習する。
27	平成24年9月12日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	14人	インドネシア(6)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パキスタン (1)、モロッコ(1)	すし	ムスリムはアルコールがだめなので、自分をもって きたしょうゆを使っていいか、たずねる。
28	平成24年9月19日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(6)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(1)、パレスチナ (1)、モロッコ(1)	招待状	パーティーの招待状の表現を知る。その後、実際に 終了パーティーの招待状を書く。
29	平成24年9月21日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	14人	インドネシア(5)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	自己紹介②	謙譲語を交えながら、自己紹介を行う。自分の好き なことなど、くわしく紹介できる。
30	平成24年9月24日 10時～12時	2時間	愛和外語学院	14人	インドネシア(5)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(2)、パレスチナ (1)、パキスタン(1)、モロッコ(1)	スピーチ	修了パーティーで行うスピーチ原稿を作成し、発表練 習を行う。
回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
31	平成24年11月2日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(7)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(1)、シリア(1)	自己紹介	はじめてあった人に自己紹介をする。その際、異性と は握手できないので、断ることができる。
32	平成24年11月5日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	11人	インドネシア(6)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(1)、シリア(1)	おみやげ	親しい友達におみやげをもらったとき、食べられない ものがあるかどうか確認する。
33	平成24年11月6日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	12人	インドネシア(7)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(1)、シリア(1)	病院①	病院の診察の予約をする際、同性の先生がいるかど うか確認をする。
34	平成24年11月9日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	11人	インドネシア(6)、マレーシア(4)、 ウズベキスタン(1)	病院②	診察を受けた後、薬をもらう際、動物性の薬は飲め ないことを伝える。
35	平成24年11月12日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	11人	インドネシア(6)、マレーシア(3)、 ウズベキスタン(1)、シリア(1)	買い物①	洋服を買う時、試着をする際、同性のスタッフをお願 いする。また、洋服の素材を尋ねる。

36	平成24年11月13日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	11人	インドネシア(6),マレーシア(4), シリア(1)	レストラン	うどん屋で注文する際、トッピングは別にしてもらおう。 また、料理にアルコールが入ってないか尋ねる。
37	平成24年11月16日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	12人	インドネシア(7),マレーシア(3), ウズベキスタン(1),シリア(1)	旅行①	旅館に電話して予約する際、家族風呂があるかどうか尋ねる。
38	平成24年11月19日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	11人	インドネシア(6),マレーシア(3), ウズベキスタン(1),シリア(1)	旅行②	旅行会社に電話して旅館を探してもらおう。そのとき、 動物性の材料を使わない食事という条件を伝える。
39	平成24年11月20日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	12人	インドネシア(7),マレーシア(3), ウズベキスタン(1),シリア(1)	買い物②	お菓子のメーカーに問い合わせ、ムスリムでも食 べられる商品のリストを送ってもらう。
40	平成24年11月26日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	12人	インドネシア(7),マレーシア(3), ウズベキスタン(1),シリア(1)	買い物③	誕生日ケーキを予約する際、アルコールと動物性の 材料を使わないケーキを注文する。
41	平成24年11月27日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	11人	インドネシア(5),マレーシア(4), ウズベキスタン(1),シリア(1)	歳時記	断食中に食事にさそわれたとき、昼間は飲食できな いので、日没後であればよいことを伝える。
42	平成24年11月30日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	12人	インドネシア(7),マレーシア(3), ウズベキスタン(1),シリア(1)	買い物④	お菓子を買う時、ムスリムが食べられない動物性の 材料が具体的に何をさすか、お店の人に説明する。
43	平成24年12月3日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	12人	インドネシア(7),マレーシア(3), ウズベキスタン(1),シリア(1)	部屋のトラブル	部屋の水道がこわれたことを大家さんや不動産会社 に伝え、修理に来てもらう。
44	平成24年12月4日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	10人	インドネシア(4),マレーシア(4), ウズベキスタン(1),シリア(1)	私の街	福岡モスクまでの道を聞かれた時、どうやって行くか 説明することができる。
45	平成24年12月7日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	11人	インドネシア(5),マレーシア(4), ウズベキスタン(1),シリア(1)	原材料の漢字	食品の原材料欄に書かれた漢字の中で、ムスリム の特に必要な漢字を読むことができる。
46	平成24年12月10日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	10人	インドネシア(5),マレーシア(4), シリア(1)	ホームパーティー	料理を持ち寄る時に、肉料理は食べられないので、 魚料理が良いことを伝える。
47	平成24年12月11日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	10人	インドネシア(6),マレーシア(2), ウズベキスタン(1),シリア(1)	買い物⑤	原材料が詳しく書かれていないもの(例:乳化剤)を、 直接メーカーに問い合わせる。
48	平成24年12月14日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	11人	インドネシア(6),マレーシア(4), ウズベキスタン(1)	招待状①	ムスリムの修了パーティーに地元の商店街の人達に 来てもらうため招待状を作成する。
49	平成24年12月17日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	11人	インドネシア(7),マレーシア(3), シリア(1)	パーティーへの招待	地元の商店街に行き、その店主の人達を実際に パーティーに誘う。その際、自作の招待状を渡す。
50	平成24年12月19日 18時半～20時半	2時間	愛和外語学院	13人	インドネシア(7),マレーシア(4), ウズベキスタン(1),シリア(1)	修了パーティー	日本人を招いた修了パーティーを行う。各国の料理 を囲み、スピーチをしたり日本の歌を歌う。

(9) 特徴的な授業風景



写真1(病気の症状をオノマトペで表現)



写真2(吉塚商店街で買い物をする)

第 46 回(12 月 10 日の授業)の授業内容紹介

ホームパーティーで料理の持ち寄りをするときに、自分がムスリムであることを伝え、ムスリムが食べられる料理を希望する会話練習をする。その会話内容は、下記の通り。

A
M
A
M
A
M
A
M
A
M

α

M

第 47 回(12 月 11 日の授業)

会話練習をした後、ブルボンと不二家に実際に電話をかけ、原材料の詳細をたずねる。
会話内容は下記の通り。

M

その結果、ブルボンのホワイトロリータは食べられることが分かった。

(10) 目標の達成状況・成果

今回の講座は、ムスリム自らが日本語能力を高め日本人と対話し、生活しやすい環境を拓くことである。その目的に即したとき、受講生であるムスリム自らが講座を通して電話をかけ、ハラール(ムスリムが食べられる食品)を獲得したことが最大の成果である。具体的には、次である。

- ・明月堂(福岡のお土産メーカー)
あぜつみもち、かわばたぜんざい、はかたつぶあん
- ・シェ クワノ(福岡市東区のケーキ屋)
ハラールのケーキが予約したらつくってもらえる
- ・ブルボン(全国的なお菓子メーカー)
ホワイトロリータの乳化剤は植物性なので食べられる

(11) 改善点について

授業シラバスをムスリムの困難な状況をより含んだものにする事である。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称 日常生活の場面から始まる楽しい授業を創りませんか？

(2) 目的・目標

地域の日本語教室に必要な場面シラバスと行動目標に基づいた授業を、受講生自らがデザインしながら習得していく。また学習者が楽しく、主体的に教室活動に参加できるようにはどうしたらよいか、という問いを共有し、その答えを受講生ひとりひとりが見つけていく。

(3) 対象者 福岡県内のボランティア教師

(4) 開催時間数(回数) 30 時間 (全 10 回)

(5) 使用した教材・リソース 自作教材

(6) 受講者の総数 18 人 (出身・国籍別内訳 日本 18人)

(7) 受講者の募集方法

福岡県国際交流局と福岡市国際部の協力を得て、ボランティア教師に掲示

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年10月13日 13時半～16時半	3	九州大学 西新プラザ	17人	日本(17人)	授業を創るための準備	講師が行う実際の授業を体験し、その授業の骨格となっている基本コンセプトを共有する。
2	平成24年10月27日 13時半～16時半	3	九州大学 西新プラザ	15人	日本(15人)	授業を創るⅠ	基本コンセプトを共有した後、トピックへの導入⇒アクティビティ⇒会話練習という授業構成を考える。
3	平成24年11月4日 13時半～16時半	3	九州大学 西新プラザ	16人	日本(16人)	授業を創るⅡ	授業構成の中から、授業の到達目標である会話場面をグループワークでつくる。
4	平成24年11月24日 13時半～16時半	3	九州大学 西新プラザ	14人	日本(14人)	授業を創るⅢ	授業構成の中から、学習者が主体的に授業に参加できるアクティビティをグループワークでつくる。
5	平成24年12月8日 13時半～16時半	3	九州大学 西新プラザ	14人	日本(14人)	授業を創るⅣ	これまで作成した授業案を基に、授業の導入部を考え、始まりから終わりまで授業を試みる。
6	平成24年12月22日 13時半～16時半	3	九州大学 西新プラザ	18人	日本(18人)	授業を創るⅤ	新しいトピックをグループで考え、「トピックへの導入⇒アクティビティ⇒会話場面」の一連をつくる。
7	平成25年1月13日 13時半～16時半	3	九州大学 西新プラザ	13人	日本(13人)	授業演習Ⅰ	創作した授業を実際にやる。導入部から会話作成まで授業を行い、その内容について議論する。
8	平成25年1月27日 13時半～16時半	3	九州大学 西新プラザ	14人	日本(14人)	授業演習Ⅱ	創作した授業を実際にやる。導入部から会話作成まで授業を行い、その内容について議論する。
9	平成25年2月2日 13時半～16時半	3	九州大学 西新プラザ	15人	日本(15人)	総括Ⅰ	各ボランティア教室の現状把握を行い、今回の研修内容をどのように生かせるか話し合う。
10	平成25年2月17日 13時半～16時半	3	九州大学 西新プラザ	18人	日本(18人)	総括Ⅱ	参加者が各ボランティア教室で行っている授業を基に現在抱えている授業の問題点を話し合う。

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)



写真1(グループでディスカッション)



写真2(模擬授業)

(10) 目標の達成状況・成果

受講生に講座内容について感想をもらった。その一例を提示する。

「私はボランティアを始めた頃から、ずっとテキストではなく、生きた(活きた)会話のできる授業をしたいと思いました。が、その手法がわからず、もんもんとした日々を送っていました。でも、今回の研修ですぐに心が軽くなったような気がします。100%理解できてないとは思いますが、少しずつ授業へいかしていきたいと思っています。ありがとうございます。」

受講生により個人差はあるが、今回の講座の成果を示すものである。

(11) 改善点について

ボランティア教室での実習を行えなかったので実習を行うことである。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 日常場面から始まる授業教案

(2) 対象 成人と児童のムスリム

(3) 目的・目標

本教材は、日本の地域社会で生活するイスラム教徒（ムスリム）を対象にした授業教案である。学習者の想定レベルは、初級である。教案はトピック・場面シラバスに基づいている。

(4) 構成

本教材は、日常生活のトピックを基にした場面シラバスを用いた授業教案である。トピックは、日常生活にある身近な話題を素材としている。以下に、一覧を示す。

- (1) 自己紹介 (2) 週末 (3) 私の近所 (4) 色 (5) 買い物（洋服）
(6) 歳時記 (7) アニメ (8) 料理 (9) 食事 (10) 旅行
(11) 贈り物 (12) 家 (13) 様子 (14) 国 (15) おすすめ
(16) 薬 (17) 漢字 (18) 買い物（食品）(19) すし (20) ごみ

(5) 使い方

本教材は、上記の20のトピックで構成されている。1つの教案の授業時間は、100分間を想定している。授業構成は、次である。

- ① トピックへの導入
- ② アクティビティ
- ③ 会話作成

①トピックへの導入（目安時間 20分）

ここでは、その日に扱うトピックを基にした学習者とのやりとりが基本である。教師側から学習者への問いかけが基本であるが、写真やレアリアを用いながら、学習者の興味を引き出し、今、できるところまでの話をする。

②アクティビティ（目安時間 30分）

ここでは、学習者が主体的に授業に参加できるような、活動を行う。
活動の内容は、様々であるので、次ページ以降を参照されたい。

③会話作成（目安時間 50分）

授業の最後は、会話作成と練習を行う。

その授業のトピックを基にした会話場面を考え、会話を学習者とともにつくる。

(7) 成果物 別添教材全20教案

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

福岡市で暮らすイスラム教徒(以下、ムスリム)が日本語能力を伸ばし地域社会と対話し共生できることを目的とする。福岡市では、留学や仕事の関係で国籍が多様な(インドネシア、エジプト、マレーシア、等)ムスリムが暮らしている。ムスリムと地域社会の共生には、ムスリム自らがイスラムの宗教や文化について日本語を通して伝えていく必要がある。したがってムスリムと地域社会の共生に必要な教室設置・人材育成・教材開発を行う。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

地域社会で暮らすムスリムの存在を、地域で暮らす人たちに知ってもらうことができたのは大きな成果である。教室設置運営の修了式には、福岡県国際交流局の主任主事やボランティア実践研修に参加した受講生が参加した。地域社会における共生は異文化であるムスリムからの働きかけと地域の住人である日本人の両方の理解が必要であり、その機会を創ることができたのは、本事業における最大の成果である。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

教室運営の授業トピック・場面を選ぶ際に活用する。

標準的なカリキュラム案は一般化されたものなので、それを各地域の現状と学習者に合わせて変えていく必要がある。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

教室設置運営では、福岡マスジドと連携し募集を行うことで、募集をスムーズに行えた。

人材の養成・研修では、福岡市国際部と福岡県国際交流局と連携し募集することで、市内と県内のボランティア教室に周知を行うことができた。

教材作成では、福岡市立筥松小学校と連携し、児童の日常場面から教案を考える機会が生まれ、小学校の外国人児童への日本語教育の実態を知ることができた。

(5) 改善点、今後の課題について

今後は、地域における問題は地域の枠組みで解決する仕組みが必要である。具体的に

は、福岡市という地方自治体のプロジェクトにより多文化の共生という問題に取り組む必

要がある。実際に平成 25 年度からは、福岡市がボランティア養成講座を委託事業として始まることが決定しており、今後はこの地方行政主体の取り組みが必要である。

(6) その他参考資料

教室設置運営と人材の養成・研修の募集案内

福岡市教育委員会に協力を得て作成した外国人児童への日本語教育実態調査

☆A SPECIAL PROGRAM☆

Survival Japanese Language Course for Muslim People in Fukuoka

Aim of the Program

To provide Muslim people with basic Japanese lessons in a comfortable atmosphere for them. The course is designed by Muslim staff of AIWA. In the class, we simulate the situations in which Muslim people often have difficulty or problems, especially explaining Islamic rules and principles to their friends, school teachers or colleagues.

Nature of the Program

It is a **FREE** Japanese language course. (60 hours in total)

It is a semi intensive course: **3** times a week (Mon, Wed, Fri) **10:00 – 12:00**

There will be two classes: **1** for sisters and **1** for brothers+sisters

The maximum number of participants for each class will be **10** people.

Each participant will receive **a certificate** upon completing the course.

Who can Join the Program? **Priorities will be given to:**

1. Those who really need Japanese language support
2. Newly arrived sisters or brothers
3. Those who register first

When & How can I Register for the Program?

Registration starts now and will be **closed when we meet the quota of students.**

For registration, please send e-mail to: hanik@aiwa.ne.jp

Announcement for accepted students will be on **June 8, 2012.**

SPECIAL CONDITION FOR THIS COURSE

Since there are many other language schools applying for similar programs, the Japanese government is now inspecting all of those applications. Therefore, there might be a little possibility that the government chooses another school this time,

although AIWA showed excellent results last time and has a great advantage over other schools. At all events, we will try our best to obtain the approval. We will receive the result of our application from the government by mid-June 2012. We will then inform the result to all registered and accepted students, inshaAllah.

When & Where will the Program Take Place?

The program will, inshaAllah, start on **June 18, 2012** and end on **September 7, 2012**.
It will take place at Aiwa Language School.

Who will Run the Program?

The Japanese Government (Agency for Cultural Affairs) sponsors the program and
Aiwa will run the program, inshaAllah.

Contact Person for This Program

Aiwa Language School

1-15-37 Maidashi, Higashi-Ku, Fukuoka 812-0054, JAPAN

TEL (092) 632-6748 FAX (092) 632-8540

<http://www.aiwa.ne.jp/english/> <http://www.facebook.com/aiwals>



人材の養成・研修の募集案内

平成 24 年度文化庁委託事業「生活者としての」外国人のための日本語教育事業
福岡市で暮らすムスリムのための包括的な日本語教育体制整備

ボランティア実践研修
日常生活の場面からはじまる
楽しい授業を創りませんか？

講座の目的

日時	10		13	30	16	30							
	24	10	13	10	27	11	4	11	24	12	8	12	
	22		25	1	13	1	27	2	2	2	17		

場所 2-16-23 TEL 092-831-8104

5

対象

定員：16 料金

内容：

講師

23

本委託事業について

19

22

回	日時	内容
1	24 10 13 13 30 16 30	授業を創るための準備
2	24 10 27 13 30 16 30	授業を創るⅠ
3	24 11 4 13 30 16 30	授業を創るⅡ
4	24 11 24 13 30 16 30	授業を創るⅢ
5	24 12 8 13 30 16 30	授業を創るⅣ
6	24 12 22 13 30 16 30	授業を創るⅤ
7	25 1 13 13 30 16 30	授業演習Ⅰ
8	25 1 27 13 30 16 30	授業演習Ⅱ
9	25 2 2 13 30 16 30	授業演習Ⅲ 10
10	25 2 17 13 30 16 30	授業演習Ⅳ

2. 外国人児童に対する日本語指導

福岡市内の小学校に在籍する日本語指導が必要な外国人児童に対して、

①日本語教室と②日本語指導員の派遣の2つを行う²

①日本語教室

11校

(香椎浜小、香陵小、城浜小、壱岐東小、春吉小、箱崎小、筥松小、弥永小、博多小、東箱崎小、内浜小)

- ・適応指導と学習言語の指導を行う
- ・1日中、日本語教室にいるのではなく、基本的に自分のクラスで過ごす

②日本語指導員の派遣

58名(平成24年10月2日時点)

- ・定期的に学校を訪問し、日常会話や学習に必要な読み書きを指導
- ・授業時間に取り出し指導を行う

3. 日本語指導員の条件等³

福岡市の日本語指導員に登録できる条件については、下記の通りである

- ・資格不問(民間の日本語教師養成講座の修了者、語学学校等での指導経験者、外国での移住経験者などで日本語指導に意欲のあるもの)

日本語指導員の給与については下記の通りである

- ・1時間3000円(交通費支給なし)

日本語指導員の派遣は次のように行われる

- ・学校からの申請に基づき、教育委員会が登録者名簿の中から選定

日本語指導員への教材支給

- ・日本語指導員の希望を受け、教育委員会から派遣校に貸し出す
- ・日本語指導員自らがもっている教材を使用しても構わない

²福岡市 HP(<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/gakkoshien/qa/FAQ3520.html>) 参照。

³福岡市教育委員会 日本語指導員派遣事業について(平成24年度版)PDF 参照。

4. 日本語指導員へのアンケート調査

福岡市登録の日本語指導員による授業全体像を把握するため日本語指導員 58 名（平成 24 年 10 月 2 日時点）へアンケート調査を行った⁴。アンケート項目は下記である。

1

上記のアンケートを 58 名に配布し、26 名から回答を得た。

⁴アンケートを実施するにあたり、福岡市教育委員会に協力を得た。

5. アンケート調査の結果

表 1 は、1 日の指導時間と 1 週間の指導時間を軸にまとめたものである。表 2 は、授業目標と授業の具体例を軸にまとめたものである。

表 1 : 1 日の指導時間と 1 週間の指導時間

学年・国籍・母語	1 日の指導時間	1 週間の指導時間
(1) 1	1	1
(2) 1	1	2
(3) 1	2	4
(4) 1	2	4
(5) 1	1.5	3
(6) 1	1	1 2
(7) 1	1	2
(8) 1	1	2
(9) 1	1	2
(10) 1	1	5
(11) 1		2
(12) 1	2	2
(13) 1	2	4
(14) 1	2	1
(15) 1	2	4
(16) 1	2	4
(17) 2	2	6
(18) 2	1	3
(19) 3	2	6
(20) 4 / /	1	2
(21) 4	2	4
(22) 4	2	4
(23) 5		4
(24) 5	2	4
(25) 5	1	2
(26) 6	2	4~5

次に表 2 で授業目標と授業の具体例を示す。

表 2：授業目標と授業の具体例

学年・国籍・母語	授業目標	授業の具体例
(1) 1		/TPR
(2) 1		
(3) 1		
(4) 1		
(5) 1		

		○
(6) 1		1
(7) 1		
(8) 1		1 1

(9) 1		
(10) 1		
(11) 1		
(12) 1		
(13) 1		
(14) 1		
(15) 1		1 2 3
(16) 1		

(17) 2		
(18) 2		
(19) 3		
(20) 4 / /		
(21) 4		
(22) 4		1
(23) 5		

(24) 5		—
(25) 5		
(26) 6		